

今回は 美濃加茂市民ミュージアムでの資料調査 の報告です。

◇ 博物館施設に収蔵されている文化財の資料調査を行いました！

参加： 地域研究部 協力： 美濃加茂市民ミュージアム

日程： 2021年8月7日（土） 内容： 吉田英敏氏コレクションの調査

◇ 関高社会研究部（地域研究部の前身）の活動と吉田英敏氏



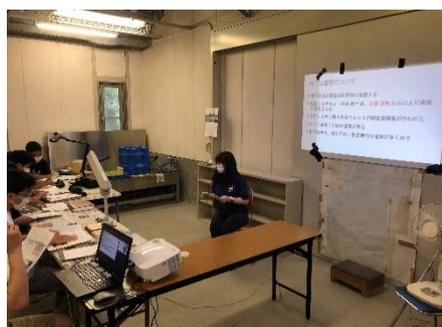
1949（昭和24）年、群馬県岩宿遺跡の発掘調査が行われ、日本列島にも旧石器文化が存在したことが立証されました。そのわずか4年後の1953（昭和28）年、加茂郡富加町の海老山遺跡で、県内初の旧石器が発見されました。発見者は吉田英敏氏（故人）。吉田氏は関高校に入学し、社会研究部を率いて考古学調査を精力的に行いました。

海老山遺跡は、旧石器時代終末段階の遺跡として知られています。その後、社会研究部は南山大学とともに関市内で赤土坂遺跡を発掘、細石器に先行するナイフ形石器段階の様相を明らかにしました。

吉田氏の活躍時期は、まさに関高校社会研究部の黄金期。武芸川八幡遺跡や千疋陽徳寺裏山古墳群の発掘調査、市内各地の遺跡踏査を通じて、実証的な研究成果を次々とあげたほか、土器や石器の製作などの実験を繰り返し、先史人類の生活復元にも熱心でした。吉田英敏氏は発掘調査の指導者として、県内各地の遺跡調査に従事し多くの足跡を残しています。

◇ 吉田コレクションの調査と考古学セミナー

現在、吉田氏の遺物コレクションは、美濃加茂市民ミュージアムに収蔵されています。今回、学芸員の藤村俊さんのご厚意で、赤土坂遺跡、海老山遺跡の遺物をじっくり観察することができました。旧石器考古学を専門とする長屋幸二さん（現岐阜聾学校）の解説を聞き、さらに本校卒業生で美濃加茂市職員の岡田紗耶香さんから、海老山遺跡に関する講義を受けました。岡田さんは、大学で考古学を専攻し、卒業論文では自宅からほど近い海老山遺跡をテーマしたとのことで、実際の卒業論文も読ませていただきました。



◇ 生徒の感想

■終戦前に生まれた吉田さんは、日本では旧石器遺跡がほとんど発見されていない中で、小学生ながら恵日山遺跡を発見し、とても行動力があると思いました。また関高校には入り地域研究部の前進である社会研究部で活躍したことを知り驚きました。吉田コレクションと呼ばれる多数の遺物があり、僕らもみたり触ったりして理解を深めることができ、改めて吉田さんの偉大さを感じました。

■今回、石器の種別や製作の仕方を初めて知り驚きました。教科書に何気なく掲載されている石器について詳しく学ぶことにより、博物館の楽しみ方がわかったような気がします。先輩の岡田さんのセミナーも、旧石器時代や海老山遺跡についてわかりやすく学ぶよい機会でした。これからは足元に眠る歴史にも注目したいと思います。